

2022年度 学校関係者評価結果 について

2023年4月

関西看護専門学校 看護専門課程 看護学科

目次

1. はじめに	1
2. 重点目標	2
3. 2022年度 学校関係者評価委員会報告に示された意見・課題への 取り組み・改善の進め方	2
4. おわりに	3

2022年度 学校関係者評価 結果報告

開催日時：令和4年10月25日（火）10：00～12:00

令和5年 2月14日（火）10：00～12:00

【委員】（敬称略）

委員長	土山 智司	医療福祉センターさくら 看護部長
委員	後藤 日出樹	大阪府立枚方津田高等学校 校長
委員	井澤 陽子	枚方総合発達医療センター 教育担当部長
委員	安永 啓子	関西看護専門学校 非常勤講師
委員	生瀬 由紀子	卒業生保護者代表

【学内委員】

学校長 村田 宏雄 ・ 副校長 関 真 ・ 副校長 奥田 尚美
教務部長 木内 有美 ・ 教務主任 山崎 裕美 ・ 教務主任 金澤 愛子
教務副主任 百々 直子 ・ 専任教員 岩切 由理 ・ 専任教員 石幸 みゆき
事務次長 若月 新 ・ 学校事務担当 元岡 城作

1. はじめに

関西看護専門学校は、設立母体である社会福祉法人枚方療育園が経営する施設、及び関連病院で活躍できる看護師を育成することを目的として昭和50年に設立された。これまで巣立って行った多くの卒業生が「枚方総合発達医療センター」及び北摂三田福祉の里の「医療福祉センターさくら」を始め、各種医療施設で活躍している。

本校は、社会福祉法人枚方療育園の創設の理念である「社会的弱者に愛を、陽の当たらない子等に光を」を受け継ぐべく、「やさしい手と確かな目で、大切ないのちを護る人を育成する」という教育理念のもと、看護に必要な知識・技術・態度を修得し、感性豊かな人間性と専門職者としての主体性を養い、社会福祉に貢献できる創造性ある看護実践者を育成することを目的とし、日々教育活動にあたっている。

近年の学校評価をめぐる動きでは、専修学校の教育水準の向上と社会的使命を達成するため、平成19年の学校評価に係る学校教育法施行規則等の一部を改正する政令施行により、自己評価の実施・結果公表の義務化、学校関係者評価の実施・結果公表が努力義務化された。これらの動向を受け、本校では平成20年に自己点検自己評価委員会を発足、2年ごとの自己評価を実施し、令和2年に結果公表へと歩みを進めた。今年で2度目の自己評価結果公表を終え、改めて本校の教育活動が専修学校として社会的使命を十分に果たしているか、自己評価の客観性・透明性を高め、よりよい改善方法を模索するために学校関係者評価の実施に踏み切った。

2. 重点目標

昨年度(2021年度)の自己点検・自己評価結果の中から、次の2項目を重点目標として取り組むこととする。

【重点目標1】資格・免許取得率及び関連施設への就職率向上

専修学校としての社会的役割を果たすためには、看護師国家試験の合格率の向上が必須である。さらに、本校の設立目的である関連施設への就職率を向上させることも重要となってくる。看護師国家試験の合格率 100%と関連施設への就職率 60%以上を目標とし、教育活動の見直し、学修活動への支援、就職支援を強化していく。

【重点目標2】受験者数の増加及び確かな学力を有する入学生の確保

質の高い教育活動を行うために、受験者数を増加させ確かな学力を有する入学生の確保は重要である。そのため、学校説明会の充足、広報活動の活性化、入学試験方法の検討などに取り組み、受験者数増加を目指す。

3. 学校関係者評価委員会報告に示された意見・課題への取り組み、改善の進め方

令和4年度学校関係者評価委員の報告に示された意見・課題に対する取り組み、改善の進め方について、学校関係者評価委員会で検討した。

【重点目標1】資格・免許取得率及び関連施設への就職率向上

- 目標値 ① 関連施設への就職率 60%以上を維持する
② 看護師国家試験の合格率 100%を達成する

評価項目	学校関係者評価委員会からの意見・課題	課題への取り組み・改善の進め方
学修成果	■ 関連施設のインターンシップの啓発の継続と学生への就職支援の強化	<input type="checkbox"/> チューター面接を中心とした、個別学生への就職に対する早期の動機付けを支援する <input type="checkbox"/> 卒業生の活躍状況など、就職後の姿をイメージしやすいような情報に触れる機会と環境の調整を行う
	■ 国家試験合格率の向上を目指した現在の課題の分析と明確化、教育活動への反映	<input type="checkbox"/> チューター面接を中心とした、メタ認知能力向上にむけた学習方略を支援する
	■ 退学率の低減を含めた学生支援のあり方の見直し ■ 卒業生の自己肯定感に対する支援	<input type="checkbox"/> 学生の特性に応じた面接、個別の課題に対する学習方略を支援する <input type="checkbox"/> 目標管理シート等を活用し、成長実感や、看護への動機づけ・意味づけを高めるための機会をもつ <input type="checkbox"/> 学生の情報共有を密に行い、教員間の学習支援の方向性を同じくする <input type="checkbox"/> ICT化による業務改善に取り組み、学生と教員の対話時間を確保する <input type="checkbox"/> 教員間で授業方略の工夫を啓発する

【重点目標 2】 受験者数の向上及び確かな学力を有する入学生の確保への取り組み

目標値 ① 各入試選考での受験倍率 2 倍を確保する

評価項目	学校関係者評価委員会からの意見・課題	課題への取り組み・改善の進め方
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">学生募集と受け入れ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 関西看護専門学校の強み生かした広報活動への見直し ■ 受験生・保護者に伝わりやすい広報内容への見直し ■ 入学のミスマッチを防ぐための広報内容への見直し 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 効果的な広報媒体として、新たに SNS 広報を活用する <input type="checkbox"/> 現行のオープンキャンパスに追加し、放課後オープンキャンパス・学外でのホテルオープンキャンパスを開催する <input type="checkbox"/> 看護学校で学ぶための学習量や、専門職者として求められる倫理観・規則等と共に、看護学校生活の実際に触れることができるよう、オープンキャンパスの内容に反映する <input type="checkbox"/> 保護者目線で考えた情報や、校風が伝わりやすいような内容を追加し、ホームページ・パンフレットを改訂する <input type="checkbox"/> 高校との連携を強化する

4. おわりに

今回、学校関係者評価委員会を通して、新たに導き出された方策において着実に PDCA サイクルを機能させていくために、対話を繰り返しながら、各教員が自らの教育活動、学生支援に意義を見出しながら実践にあたるよう取り組んでいきたい。

2023年4月
関西看護専門学校
学校関係者評価委員会